

磐城大衆新聞

毎月二回一日十五日
 定価一部十錢
 廣告料一行五十錢
 發行所 磐城大衆新聞社
 長谷川兵衛

責任觀念

平町富豪の犠牲出途と 社會奉仕の事業團 (其二)

責任觀念は人間として持たねばならぬ義務觀念の一つである。故に何れの國に於てもこれを教養の第一として教養せしめ、實に感心せず、唯其の私財蓄積の方法とて居る。英國人の誇は英國の領土手段を吟味し研究するのみ。祖の事に依つて富者の功徳は大に太陽の没しないといふこと。先より繼承したる宏大なる土地に認識せられる。かゝる心掛にはない。英國人の誇は英國が社會の進展に從つて地價の暴げやた富豪は日本の社會には極人の義務觀念の強いところにある。富豪となれる所謂不勞利得者又の時勢を達観し得る先見ある歐の政治より、小は隣人に對しては偶然の機會に遭遇し戦争投機米の富豪は氣前よく巨額の私財まで社會の一員として盡さねばならぬ。國語成金となつた富豪等は其の社會を見る。今平市創建に直面しならぬことを完全に遂行し。國語成金となつた富豪等は其の社會を見る。今平市創建に直面し家社會全体のために盡すことである。吾々の第一に必要とするは、自己の職分に忠實なる責任觀念である。自分の扱ひ又は製造して居る品物が多くの人々に幸福に關係するものである。思へば怠けたり又は若し品物を供給する事は出来ぬ。職務に對する責任觀念は獨り商業に從事するものみに限らぬ。苟くも世の中で仕事をやるものは何人もこの觀念を持たねばならぬ。

平町青年に對する 社會教育、公民教育の 機關の設置

現在青年訓練所あり、青年團あつては居るが尙一層徹底の必要あり、其他講演會の開催等あつてある。青年指導の機關はそれらに備はるべきである。

山崎佐市郎氏 君は日露戦役の勇者として功 六級の所有者である。好間軌道 會社の支配人として寸暇なく従 業員を指導して活動しつゝある 極めて温厚寛容の君子にして萬 人より親敬せらるゝ性格の所有 者である。

常磐製材界に雄飛する
石川材木店
店主 石川淺次郎氏

關内藥局

平町四丁目
電話四〇番

廣野村

村長 越智又助氏
助役 大和田忠氏
収入役 小磯軍平氏

片倉磐城製絲株式會社要覽 當會社の沿革と使命

由來我當會社は之を内にしては農片倉製絲株式會社と相圖り、外に於ては輸出貿易品たる絹糸の製造に力をつくす。爾來當會社は設立の大家として我國際貿易の改善趣旨に基き工場設備は近代の産に大なる力を致し來つた。然るに我當會社は世界的に不況の余波を受け萎微振はす、新生更新策を要する急なるものがある。從來の歐米文化の模倣や單なる朝命專制的の姑息手段では到底現下の難局に處し克く斯業の發展を致し以て國運の隆昌を期する事は至難である。而して製絲の業たる經營的の智識經驗と熟練技能なる技術を要するは勿論なれども優良蠶種を供給する蠶種家、優良なる原料繭を供給する養蠶家と相提携せざれば斯業の改善發展は望み難い。茲に於て時代の趨勢に鑑み産業の合理化を基調とし蠶種、養蠶、製絲三者相提携し正に其の利益を享有し共存共榮の實を擧げ以て本縣蠶業の發展に資せんが爲昭和三年六月當會社設立の議を昭四年一月斯界の一大權威

大衆片々

□現下の平町には封建諸大名の如く新聞雜誌が對立して居る。日刊、週刊、旬刊、月刊等の小言論機關が亂立して各々ツクの勢力者支持者を有してゐるが、三萬大衆の支持を受けて發行部數二千を越ゆる大衆性ある新聞雜誌は無である。

我會社の役員

- 取締役社長 今井五六
- 常務取締役 野崎熊太郎
- 取締役 井上茂作
- 大平陸四郎
- 鈴木辰三郎
- 萩原義雄
- 諸橋久太郎
- 武井方介
- 和田甚内
- 相場清二
- 久保田清
- 片倉兼太郎
- 今井五介
- 青沼鋒太郎
- 伏見彦衛
- 片倉直人
- 山本薫
- 今井岩根
- 事務主任 長

□是れらの言論機關は今や互滅の共倒れ闘争を事とし權威ある言論機關生まるゝまでの過渡的産物の觀がある。□その背景の經濟的支持倒潰と政黨的應援漸減と共に朝露の短命に終る。□吾れは是れが磐城平の代表的言論機關なりと誇示して郷人に提供し得る立派なもの誕生を望む。□平町某紙の如きは三十二號にして五週年記念廣告募集を此の號數見ても二ヶ月に一回發行の事になるが優秀なる人物の爲す事ではない、一面より觀すれば此の紙の新聞は經濟的に恵まれぬからだ。然り主權に出席して清酒があたりつかねとくどいて居るが、實に變相な支配人も御座る。

勞資協調の實を擧げ其の慶福を縣下蠶業の改善發達に努め、共に以て時代の要求に順應し國運隆興の一端に貢献せんことを其他事項に示すが如き施設なしを期して居る。

